

# 多収で病気にも強い北海道初の飼料用米優良品種「空育181号」

飼料用・多収品種の開発

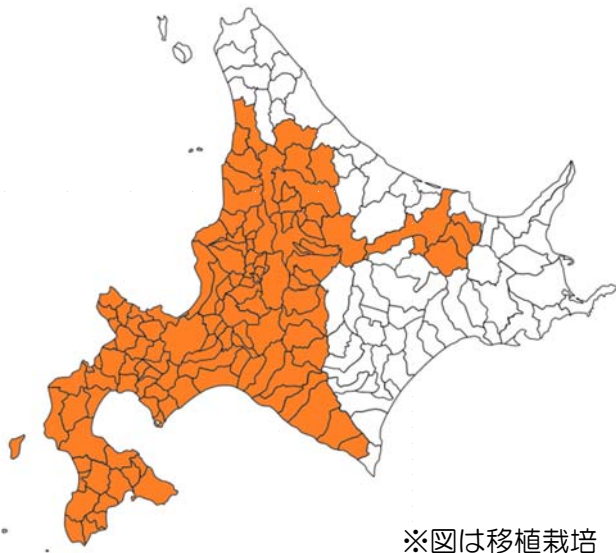
## 背景

- ・飼料用米の栄養価は輸入トウモロコシと同等と評価されており潜在的な需要が大きい。
- ・生産増加が見込まれ国も飼料用米の生産努力目標110万tを設定。優良品種の開発が求められている。

## 成果

どこでもつくりやすい、たくさんとれる早生品種「空育181号」は飼料用米に最適！

### 1 道内全ての稲作地帯で栽培が可能



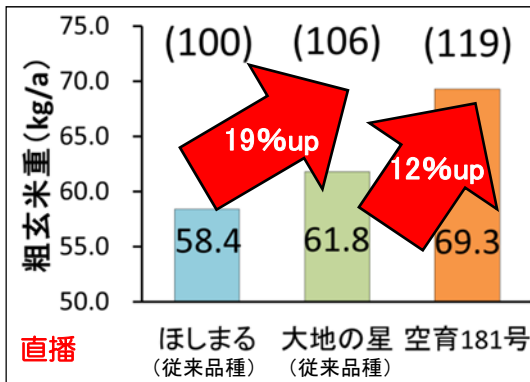
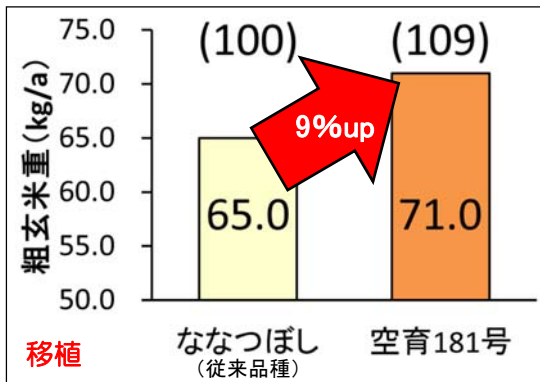
### 2 冷害、病害に強く、倒れにくい

障害抵抗性	ななつぼし (従来品種)	空育181号
耐冷性 (冷害への強さ)	強	極強
いもち病抵抗性 (重要病害への強さ)	やや弱	強
耐倒伏性 (倒れにくさ)	やや弱	やや強



直播栽培\*における収穫期の状況

### 3 移植栽培、直播栽培\*のいずれでも多収



\*直播栽培：  
通常の田植えを行わず水田に  
たねを直接まく栽培

## 期待される効果

○北海道が目標とする全道水稲面積の5%に相当する5,000ha (3.6万t) の普及と、  
1% (乳牛) から9% (豚) の飼料代替えが期待できる。